

利用規約等の主な変更点

今回の改定では、主にデータの取扱いおよび関連文書の整理・明確化を行いました。

1. データの取扱いルールを分かりやすくしました

サービス上で取り扱うデータについて、区分を整理しました。

- ユーザーが入力・作成するデータ(ユーザーデータ)
- サービスの提供・運用のために生成されるデータ(サービスデータ)
- 契約、請求、サポート対応等に関する情報(アカウントデータ)

これにより、どのようなデータを、どのような目的で取り扱うかが、より分かりやすくなりました。

2. データ処理に関するルールを整理しました

ユーザーデータに含まれる個人データの取扱いについて、データ処理補足条項(DPA)を新たに決めました。

主な内容は以下のとおりです。

- 当社と契約者の役割の整理
- データ処理の範囲および目的の明確化
- セキュリティおよび委託先管理に関するルールの整備

これにより、データ保護に関する考え方や取扱いが、より分かりやすくなりました。

3. プライバシーポリシーを見直しました

プライバシーポリシーについて、記載内容を見直しました。

主な見直し内容は以下のとおりです。

- 取得する情報および利用目的の整理
- 国外移転に関する説明の拡充
- DPAとの関係の明確化

これにより、個人情報の取扱いに関する説明を、より分かりやすくしました。

4. セキュリティに関する関連文書を整理しました

これまでのセキュリティ関連文書(セキュリティに関する補足規約等)の内容を見直し、データ取扱いおよびセキュリティに関するルールを、利用規約・DPA・プライバシーポリシー等に整理しました。

これにより、関連する内容を一貫した形で確認しやすくなりました。

5. サービス提供に関する記載を分かりやすくしました

サービス提供に関する前提条件について、記載を整理しました。

主な内容は以下のとおりです。

- 外部サービス(クラウド等)を利用する場合の取扱い
- サービス変更や停止に関する条件
- サポート対応やセキュリティ対応時のデータ取扱い

6. 表現や用語を見直しました

このほか、以下の見直しを行いました。

- 表現の統一および明確化
- 用語定義の整理